



音で活躍する消防団ラッパ隊（5月27日 春季消防演習）

主な内容

- 加茂市成人式開催 ②③
- 中学生保健体育武道見学会 ④
- 来春採用予定就職ガイダンス ⑤
- 海上自衛隊舞鶴音楽隊演奏会 ⑥
- カメラスケッチ ⑦
- 歯の健康「高校生からの質問」 ⑦
- 加茂の風土記 ⑧

百年に一度の唯一の好機！

新加茂病院に産科の個室20室を確保しました！妊婦の方々は、皆個室を希望しています。

新加茂病院の隣りに病児保育園を確保しました！お金は加茂市と田上町が負担！

この二つこそ絶対必要な少子化対策！

産科の個室が1つでは、医師も妊婦もやって来ず、産科は実現しません。



五月三日、文化会館で成人式が開催されました。

今年の成人式該当者は、平成九年四月二日から平成十年四月一日までに生まれた人で、平成二十五年三月に中学校を卒業した人たちです。会場では、各中学校区ごとに席が分かれ、二百十一人が出席して式典が行われました。

平成九年は、消費税が三%から五%になり、バブル経済崩壊を象徴する大手証券会社の経営破綻がありましたが、量産型ハイブリット自動車が発売されるなどした年でした。

式典で小池清彦加茂市長は、新成人へ東洋哲学の易經「天行は健なり、君子以て自彊して息ます。」と論語の中から「仁以て己が任と為す。」の二つの言葉を贈りお祝いしました。そして、平和憲法を守つていくことが大切であることとともに、少子化から脱却し、健康に気をつけ長い人生を楽しんで行っていただきたいと話しました。

続いて森山一理市議会議長が「自分で判断し、挑戦すること、笑顔で明るく夢と希望と優しさを持つて人生を送ってください。」とあいさつされました。



式典会場の文化会館大ホール



中学卒業以来の再会を喜ぶ新成人の皆さん



客席後方にはご家族も出席しました



二十歳の誓いを述べる堀内海真さん



小池清彦市長



森山一理市議会議議長



式典終了後の記念撮影

新成人を代表して堀内海真さんが「年齢を重ね、つらいことが増えていつても、ここにいる仲間と話し、助け合う絆を深めていき、困難を乗り越えていきたい。」と二十歳の誓いを述べました。

このあと卒業した中学校ごとに記念撮影を済ませ、産業センターに会場を移し、立食パーティーで同級生との再会を楽しんでいました。



産業センターでのアトラクション



中学生保健体育 武道見学会

柔道、剣道、合気道、空手道、柳生新陰流剣道、なぎなた 六種目から選択

加茂市では中学校保健体育授業の武道授業が十月から下条体育センターを会場に予定されています。この授業の種目選択の参考にするため生徒たちへの見学会が五月九日、文化会館がありました。

見学会は、大ホールのステージで柔道、剣道、合気道、空手道、柳生新陰流剣道、なぎなたを指導する講師の方から、市内全中学校の生徒の前で演武を披露していただきました。

この見学会の後、生徒がそれぞれの種目を選択します。委員会にあり、生徒はその用具を使って、授業を受けることになります。



柔道



剣道



合気道



空手道



なぎなた



柳生新陰流剣道

来春採用予定 就職ガイダンス 47社が参加



来春、大学・短大・専門学校を卒業予定と、卒業後三年以内の既卒者を対象とした企業説明会が五月十七日に産業センターで開催されました。

今回のガイダンスには、市内・県央地区に事業所を中心に四十七社（四十三ブース）から参加いたしました。

開会前に小池清彦加茂市長は「現在は就職希望者の売り手市場で、企業にとって人手不足という状況です。学生の皆さんには、たくさんの企業からお話を聞いて就職を決め、幸せな人生を送つてほしい。」とあいさつしました。



続いてハローワーク三条の成澤康仁所長は「このガイダンスは地元の優良企業が参加しており、学生の皆さんにしっかりと話を聞いてください。企業の方々にとつては求める人材にPRする場になります。会場の皆さんにこの機会を活かせるよう、たくさん説明と質問をしてください。」とあいさつされました。

各企業ブースでは、事業や製品、勤務環境について、採用担当者と学生の間で説明と質問が交わされました。

七月には来春高校を卒業する学生を対象とした企業説明会を開催します。

海上自衛隊舞鶴音楽隊演奏会

加茂市民歌や大河ドラマテーマ曲を演奏

五月二十六日、文化会館で海上自衛隊舞鶴音楽隊演奏会が開催されました。

この演奏会の入場整理券は四月二十三日から配付が始まりました。が、一週間足らずで用意した入場券がなくなる人気となりました。当日、大ホールの全席が埋りました。海上自衛隊の白い制服姿の隊員が登場し、加茂市民歌が演

奏され、歌声が響くと大きな拍手で会場が包まれました。演奏プログラムには、海上自衛隊歌「海を行く」やクラシック曲、第二部ではアニメや歌謡曲、アンコールではNHK大河ドラマ「西郷どん」テーマ曲と、子どもから各世代が楽しめるひとときとなりました。

最後は、軍艦マーチで盛り上がつて終了しました。



海上自衛隊舞鶴音楽隊は、1955（昭和30）年に発足し、76（昭和51）年に舞鶴地方総監の直轄部隊となりました。

全国に6つある海上自衛隊音楽隊の中で唯一、日本海側の京都府舞鶴市に所在し、主に富山県から鳥取県まで、北陸・東海・近畿・中国地方に渡る広い範囲で活動しています。

その活動は、皇太子殿下ご成婚パレードをはじめとする国家的行事から、各種イベントへの協力、自衛隊の儀式・式典と多岐にわたるほか、定期演奏会、各地でのコンサートやテレビ・ラジオへの出演、学生を対象とする音楽教室や演奏指導を行っています。

カメラ スケッチ

春季消防演習（5月27日）

春季消防演習が、各種訓練と式典が加茂小学校で、分列行進と放水訓練が大通りと河川敷で行われました。加茂小グラウンドでは、消防団による倒壊家屋を想定した救助訓練があり、各分団に導入されたチエーンソーなどの資機材が使われました。また、神明町二丁目の住民による初期消火訓練では実際に消火器を使って行されました。放水訓練では消防団車両三十二台が一斉に放水し、両岸に集まつた市民に火の用心をアピールしていました。



高校生の患者さんの質問から



Q 上下の前歯の歯ぐきが全体に腫れています。むし歯はありません。原因は何でしょうか？治療方法は？

A 思春期になると、ホルモンのバランスによって、歯ぐきが腫れる「思春期性歯肉炎」というものがあります。さらに、不十分な歯みがきにより、歯垢や歯石がたまつて、歯垢中の細菌の内毒素によ



り歯肉に炎症が起き、血管の拡張などにより赤く腫れます。治療方針は、まずその原因となる歯垢を歯みがきによって取り除くことです。また、歯ぐきのマッサージをすることです。その際の効果的な歯みがきの方法は、歯ブラシの毛先を歯と歯ぐきの境目に45度の角度にあって、細かく（5mm程度）前後に動かす「バス法」といわれる方法をおすすめします。そして、柔らかめの歯ブラシを使用して、ていねに弱い力でみがくことです。また歯石は歯科医院で定期的にとつてもらうことが大切です。食生活は、規則正しく、だらだら食べないようにしましょう。

市販のデンタルリンスで歯垢の形成を抑える作用をもつものもあり、それでうがいをするのも効果的で、口の中を清潔に保つことが大切です。また、柔らかい食べ物だけをとらず、歯ごたえのある食品をよく噛んでとることをおすすめします。さらに、歯科医院を受診し、その歯肉炎の程度がどのくらいのもののかを診てもらつて、定期的な検査を受けることが大切です。

加茂駅にもあつたホームでの立売

駅のホームで商品を入れた大きな箱を胸にかかえて商品名を大声で叫びながら駅弁などを売り歩く、立ち売り販売が加茂駅でも見られたことを知る人は少ない。

今から百年ほど前、大正三年（一九一四）四月、本町で菓子屋を営む金升堂桑原豊次郎（屋号升屋）が、東京鉄道管理局の許可を得て、加茂駅ホームでの立売販売を始めた（以下、桑原升屋家「（停車場構内物品販売）許可書」綴による）。

加茂に鉄道が通り、加茂駅が営業を始めたのは明治三十年（一八九七）

で、それから十七年が過ぎ、年間乗降客は三十八万五千人（大正八年）を数え、駅前には旅館・御休所や運送業者が新たに店を構え、繁盛していた。

許可書によると、営業料として月額一円五十銭を四月と九月に六ヶ月分を支払う契約であった。販売品は、日本酒、ビール、サイダーなどの飲料の他、まんじゅう、鶏卵、果物のほか、加茂名産のうどんと葛切りも売られた。日本酒とビールは銘柄が指定されており、日本酒は一社のみだが、ビールは黒ビールを含め五社

で競合した。弁当は取り扱っていないが、煙草とマッチも売られた。販売員は、上り下りのホームにそれぞれ一人ずつ配置された。制服として、紺色無地・木綿の股引をはき、同じ紺無地の法被を着るよう指定された。法被の背中と襟には、白抜き染めで駅名と店の屋号を入れ、ラシヤ地の黒い鳥打帽（とりうちぼう・ハンチング帽）をかぶった。

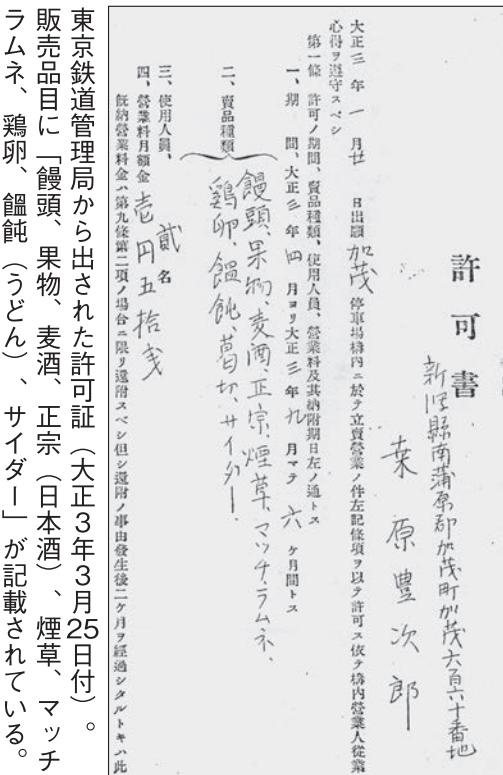
開業四年後の大正七年四月十日、豊次郎はラムネの販売価格の改定を新津運輸事務所に申し入れた。これによれば、ラムネは従来一合ビン詰を中身だけ販売して空きビンを返してもらっていたが、停車時間が短くなり、一本を飲みほすことができず、ビン代を含めると割高になつた。

そこで一合ビン詰めを二合ビン詰めにし、今後は他の飲料と同様にビン入り販売を原則とするというものである。新価格は二合ビン一本十五銭であった。

加茂駅ホームでの立ち売り販売がいつまで継続したかは明らかでない。皆様のご教示をお願いします。

（長谷川昭一）

加茂の風土記



ありがと・つ

社会福祉費寄付金

▼故・本間光子様ご遺族から
十萬円

人口のうごき

5月1日現在

世帯	10,276	(-15)
人口	27,478	(-32)
男	13,349	(-13)
女	14,129	(-19)
() 内は前月比		
(4月異動分)		
出生	9	(男4女5)
死亡	51	(男24女27)
転出	48	転入 58